

徳島経済レポート

No.432 2020. 7. 2

公益財団法人 徳島経済研究所

最近の県内景況

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、 景気は極めて厳しい状況が続いている

概況

最近の県内景況は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、個人消費や住宅投資が引き続き落ち込んでいるほか、雇用情勢も弱めの動きとなっているなど、極めて厳しい状況が続いている。

鉱工業生産(4月)をみると、季節調整済指数は104.2で前月に比べ1.7%上昇、前年比(原指数)は0.8%低下した。季節調整済指数は、食料品・飲料・飼料、輸送機械、木材・木製品、電気機械などが前月を下回った一方、ウエイトの大きい化学や金属製品、はん用・生産用・業務用機械、プラスチック製品などが上回った。もっとも、足元にかけては一部で大幅な減産を余儀なくされている企業がみられるなど、企業の生産動向は厳しい状況にある。

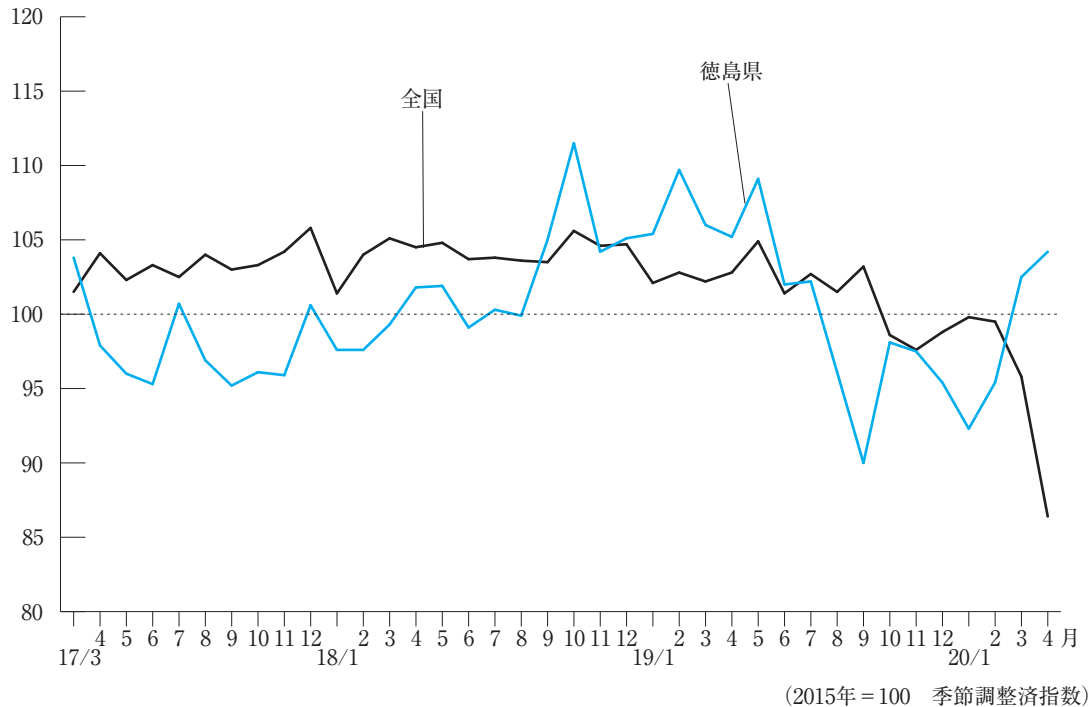
大型小売店・専門量販店販売額(5月)をみると、新型コロナウイルス感染拡大に伴う巣ごもり消費の高まりなどにより、身近なスーパー等での食料品、家庭用品、衛生用品などが堅調だったほか、家電ではテレビやパソコン、調理家電、掃除機などに動きがみられたものの、大型店の一部店舗での臨時休業や営業再開後の時短営業などの影響で、衣料品や身の回り品、高額品などが大幅に落ち込むなど、全体の売上げは前年を下回った。旅行(5月)も、国内旅行は不要不急の移動自粛の動きがさらに強まり、極めて低い水準が続き、海外旅行は渡航制限等により取り扱いのない状況が続いている。自動車販売(5月)は、来店客数の落ち込みなどにより登録車、軽自動車とも大幅に減少し、登録台数(含む軽)は1,110台で前年比47.8%減となった。

新設住宅着工戸数(5月)は、持家が前年比35.9%減、貸家が同63.5%減、分譲が同4.2%減となり、総戸数は同48.4%減の222戸となった。公共工事請負金額(5月)は、「独立行政法人等」が前年比331.6%増の一方、「国」が同67.3%減、「県」が同5.8%減、「市町村」が同0.7%減となり、全体でも同30.7%減の57億円となった。

雇用関連指標をみると、有効求人倍率(5月、季節調整済)は、前月比0.02ポイント低下して1.18倍となった。また、雇用保険受給資格決定件数(5月)は前年比12.5%増加した。

企業倒産(5月)は、件数4件、負債総額は13億60百万円であった。

鉱工業生産指数（徳島県、全国）



徳島県（4月）

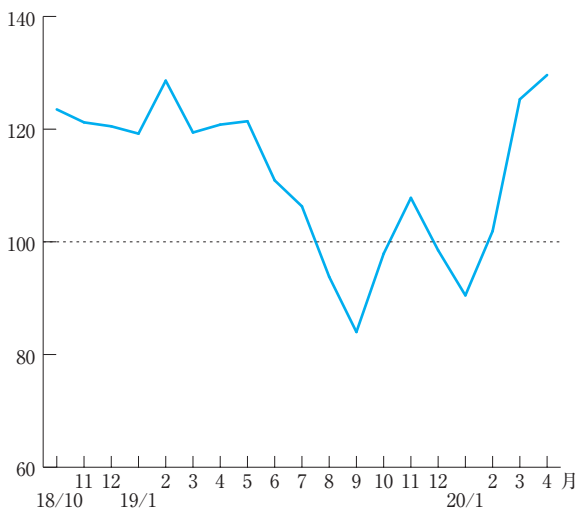
徳島県の4月（速報値）の鉱工業生産指数は、104.2（季節調整済）で前月比1.7%上昇、原指数は107.4で前年比0.8%低下となった。

季節調整済指数の内訳を見ると、前月比で上昇したのは全15業種のうち9業種で、金属製品（45.7%増）、はん用・生産用・業務用機械（28.9%増）、プラスチック製品（16.1%増）、化学（3.4%増）など。一方、低下した業種は、食料品・飲料・飼料（19.6%減）、輸送機械（16.1%減）、電気機械（1.7%減）など。

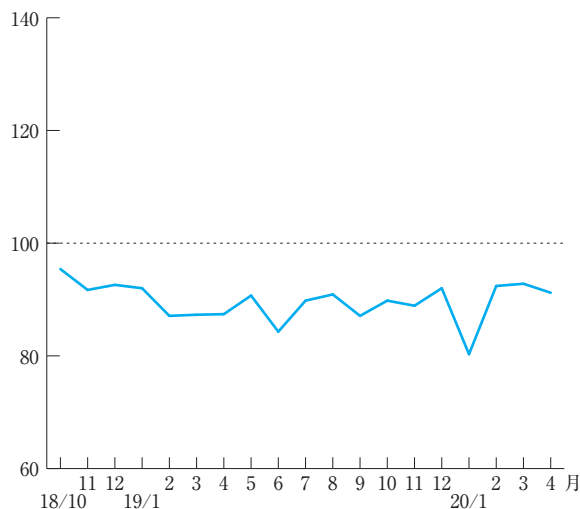
原指数の内訳をみると、前年比で上昇したのは全15業種のうち4業種で、鉄鋼業（28.1%増）、化学（5.8%増）、電気機械（4.2%増）など。一方、低下した業種は、輸送機械（58.2%減）、はん用・生産用・業務用機械（23.0%減）、パルプ・紙・紙加工品（15.0%減）、食料品・飲料・飼料（11.8%減）など。

業種別鉱工業生産指数 (カッコ内数字は、全体を10,000としたウエイト) (2015年=100 季節調整済指数)

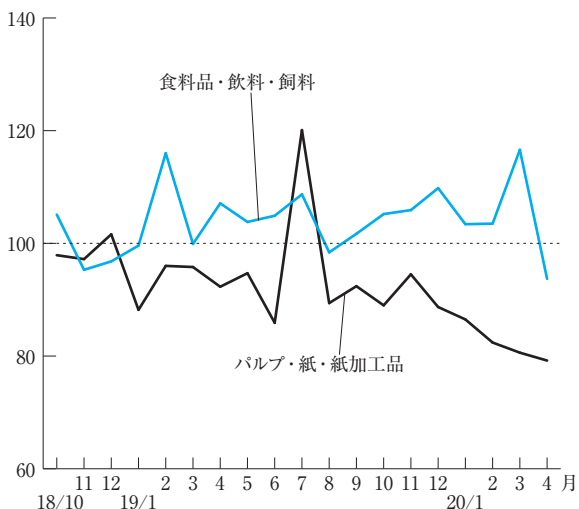
化学 (3,681.0)



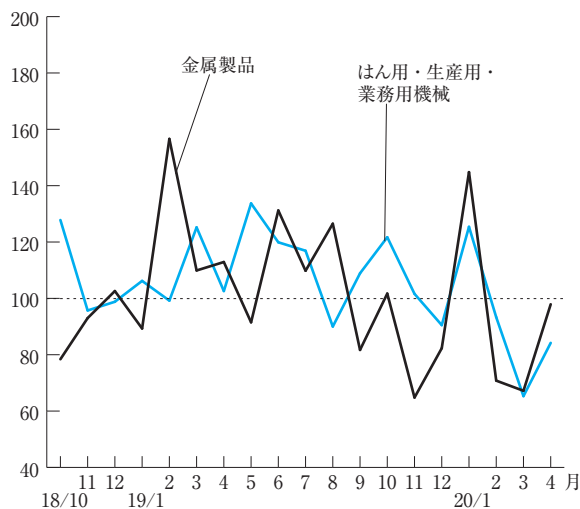
電気機械 (2,888.8)



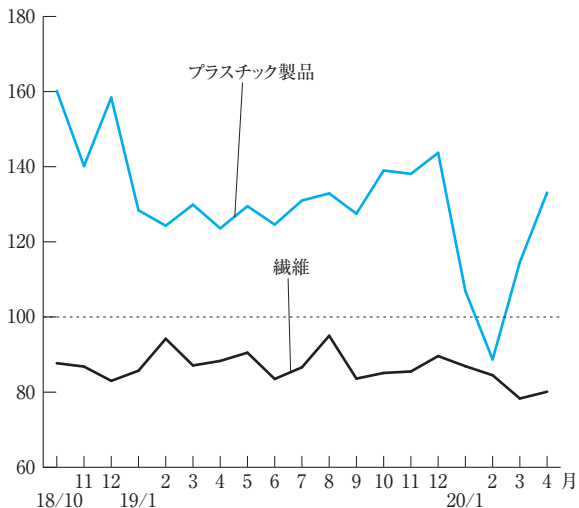
食料品・飲料・飼料 (703.4)
パルプ・紙・紙加工品 (516.2)



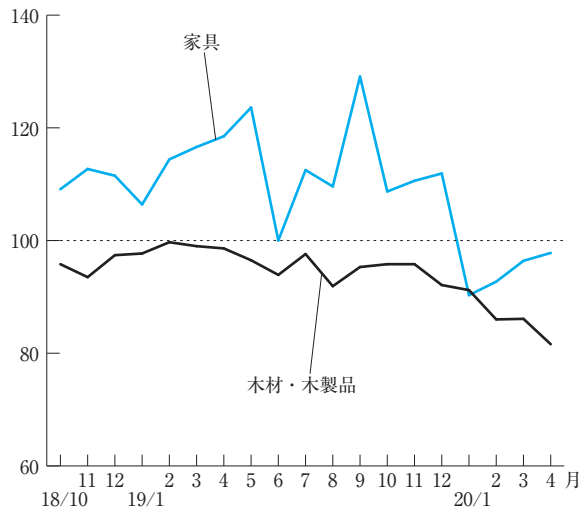
はん用・生産用・業務用機械 (558.7)
金属製品 (309.7)



プラスチック製品 (247.0)、繊維製品 (99.3)

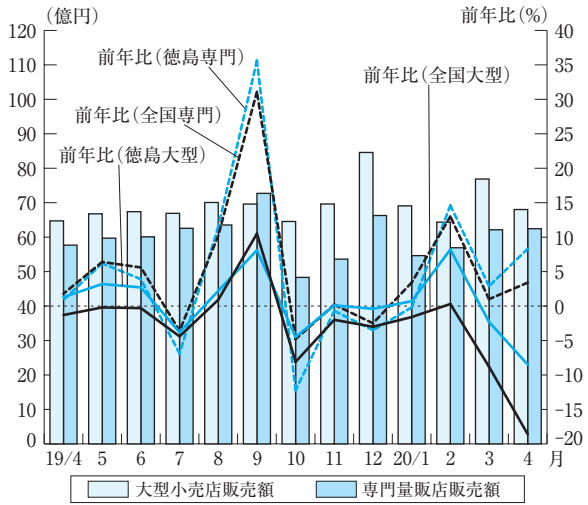


木材・木製品 (157.8)、家具 (134.9)



資料：徳島県統計データ課

大型小売店・専門量販店販売額



資料：四国経済産業局

5月の小売商況は、コロナ禍による百貨店、大型店の一部店舗での(4月から続く)臨時休業や営業再開後の時短営業などの影響で、入店客数が大幅に落ち込んだ。5/14の緊急事態宣言の解除(徳島県を含む39県)後も不要不急の外出自粛の動きがみられ、衣料品や身の回り品、高額品などが大幅に減少した。一方、総合ディスカウントストアなどの新規出店効果や身近なスーパーなどで食料品に堅調な動きがみられたものの、全体として売上は前年を下回った。

品目別の内訳をみると、衣料品は、一部店舗の臨時休業や不要不急の外出自粛による客数減の影響で、売上げは大幅減となった。身の回り品・雑貨は、トイレトーパー、洗剤等の家庭用品や、マスク、除菌関連の衛生用品、ドラッグなどが堅調だったものの、靴、アクセサリなどの身の回り品や高額品が大幅に減少し、売上げは前年を下回った。家電は、営業時間短縮や不要不急の外出自粛の影響がみられた一方、巣ごもり消費の高まりにより、インターネット動画配信対応テレビや調理家電、掃除機が好調

だったほか、テレワーク需要の増加によりパソコンが大幅に増加した。食料品は、外出を控え家庭での食事が増えていることから、身近なスーパーなどでの需要が引き続き伸び、生鮮食品や加工品、冷凍食品、麺類、保存食などが好調で、売上げは前年を上回った。

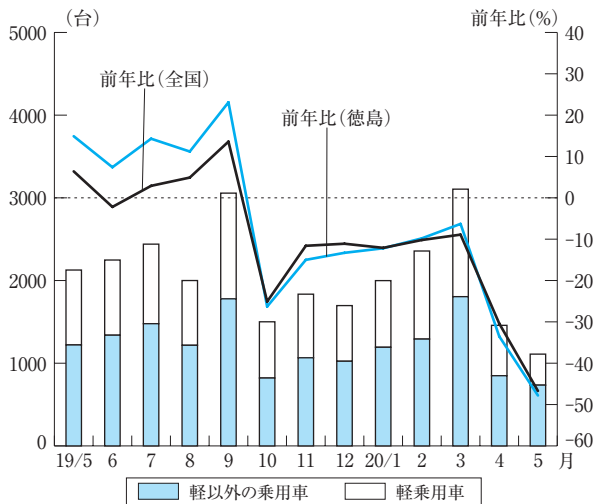
なお6月については、売上げは引き続き減少しているが、百貨店、大型店の一部店舗の営業時間が徐々に通常に戻りつつあることや「特別定額給付金」(一人10万円)の支給が広がったことから、衣料品の夏物セールや寝具、家電製品等に動きがみられるなど、減少幅は縮小してきている。

旅行業

5月の旅行需要は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、国内旅行・海外旅行ともに自粛する動きがさらに強まり、個人旅行全体の取扱高は4月に続き前年を著しく下回り、極めて低い水準で推移した。国内旅行は観光関連施設の閉鎖やイベントの中止・延期などで多くのツアーが中止となったほか、5/25の緊急事態宣言解除後も旅行については段階的な緩和が示され、都道府県を跨ぐ不要不急の移動は控える動きが継続するなど、極めて低い水準が続いた。また海外旅行は、日本の渡航制限や各国の日本人に対する入国制限措置などからツアー等が催行されず、取り扱いない状況が続いた。

6月以降の予約状況についても、引き続き都道府県を跨ぐ移動に慎重な動きがみられるなど、前年を著しく下回っている。国内旅行は、6/19に全都道府県を跨ぐ移動が解禁されたことに伴う四国や関西方面などの予約のほか、USJや東京ディズニーリゾートの再開に向けた問い合わせがごく一部でみられているものの、前年を大きく下回って推移している。また海外旅行は、引き続き日本からの渡航や各国・地域における入国が制限されており、極めて低い水準で推移している。

自動車販売

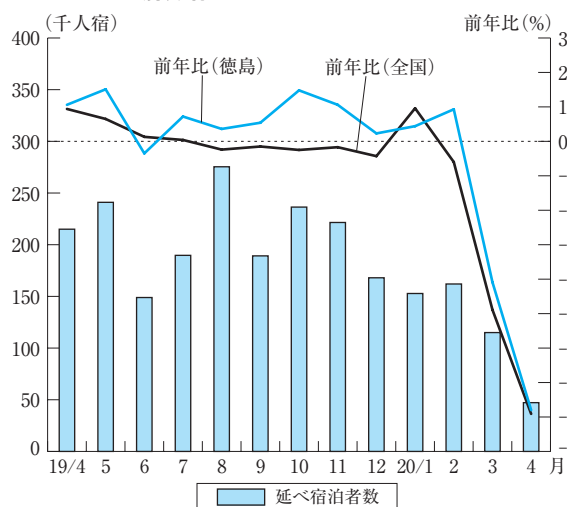


資料：自動車販売店協会・軽自動車協会

5月の自動車販売は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う来店客数の落ち込みなどにより、登録台数(含む軽)は前年比47.8%減の1,110台と大幅に減少した。

内訳をみると、普通車は328台で前年比48.3%減、中小型車(5ナンバー・1500cc超)は32台で同17.9%減、大衆車(1500cc以下)は375台で同31.6%減となり、登録車合計は735台で同39.8%減となった。また、軽自動車は375台で同58.6%減であった。

ホテル・旅館



資料：国土交通省「宿泊旅行統計」
(全宿泊施設)

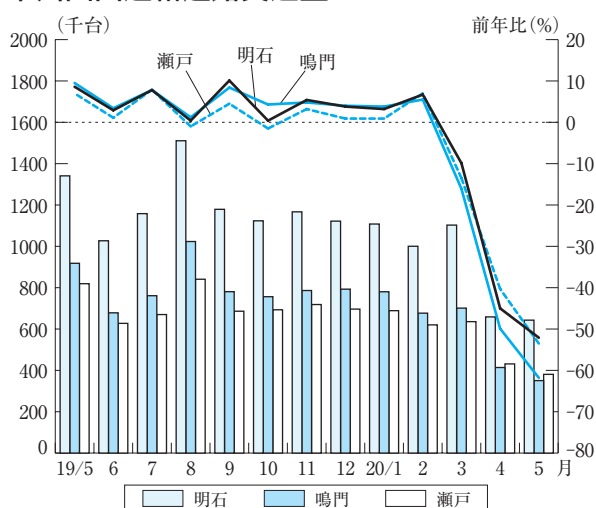
5月の徳島市内の主要ホテル・旅館業をみると、4/16発令の緊急事態宣言（全国）が大型連休中も継続されたことに加え、5/25の全面解除後も県境をまたぐ往来の自粛が求められたことで、観光・ビジネスともに需要の低迷が続き、稼働率は過去にない水準まで低下した。

宴会・飲食部門は、会議・会合の中止や延期、宴席の自粛などにより、4月に続いて売上げが大幅減となるなど、極めて厳しい状況が続いている。

なお6月については、6/19に県境をまたぐ移動が解禁されたことでビジネス需要に回復の兆しがみられるほか、県や市町村が実施する県民・地元住民向けの宿泊キャンペーン効果もみられており、状況は改善している。

(宿泊旅行統計【全宿泊施設】をみると、4月の徳島県の延べ宿泊者数(第2次速報)は47千人泊で、前年比78.0%減(全国平均は同79.1%減)。なお2020年1月～4月の徳島県延べ宿泊者数累計は477千人泊で、前年比32.2%減(全国平均は同33.8%減)となった。)

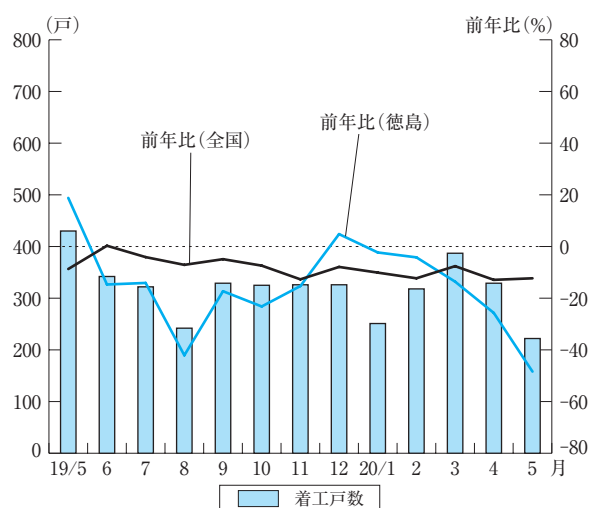
本州四国連絡道路交通量



資料：本州四国連絡高速道路

5月の本州四国連絡道路の交通量をみると、明石海峡大橋は前年比52.1%減、大鳴門橋は同61.8%減、瀬戸大橋は同53.5%減となった。(2020年4月～5月の交通量累計は、明石海峡大橋、大鳴門橋、瀬戸大橋の順に、前年比48.7%減、同56.2%減、同47.3%減)

住宅投資

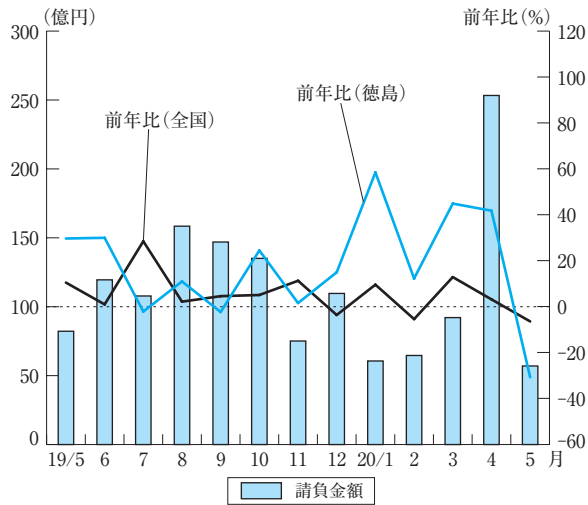


資料：国土交通省

5月の新設住宅着工戸数をみると、総戸数は前年比48.4%減の222戸となった。

利用関係別では、持家は前年比35.9%減の118戸、貸家は同63.5%減の81戸、分譲は同4.2%減の23戸であった。総床面積は21,785㎡で、同33.5%減少した。

公共工事

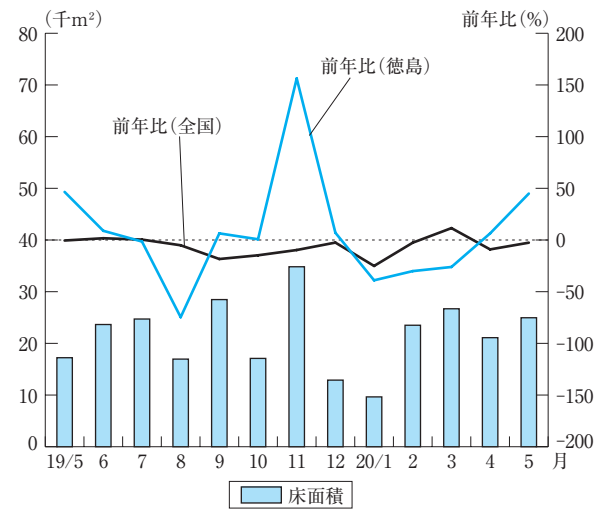


資料：西日本建設業保証(株)

5月の公共工事（西日本建設業保証徳島支店調べ）をみると、請負件数は、前年比18.2%減の175件、請負金額は同30.7%減の57億円となった。

発注者別にみると、「県」は14億96百万円で前年比5.8%減、「市町村」は22億46百万円で同0.7%減、「国」は13億3百万円で同67.3%減、「独立行政法人等」が2億円で同331.6%増となった。

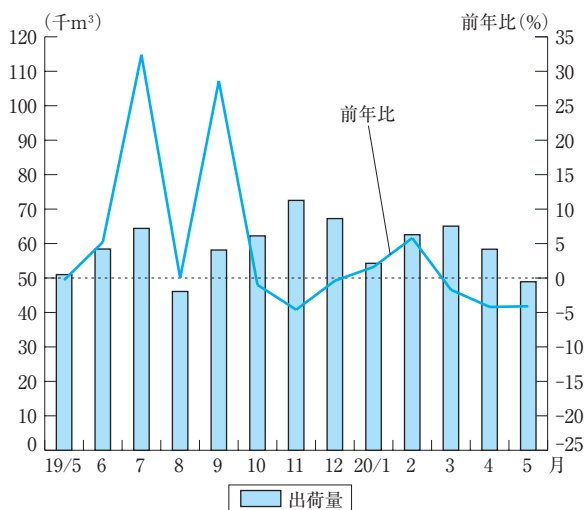
非居住用建築着工床面積



資料：国土交通省

5月の非居住用建築着工床面積(店舗、工場等)は、前年比44.9%増の24,958㎡で、工事費予定額は同16.3%増の68億60百万円となった。

生コン出荷量

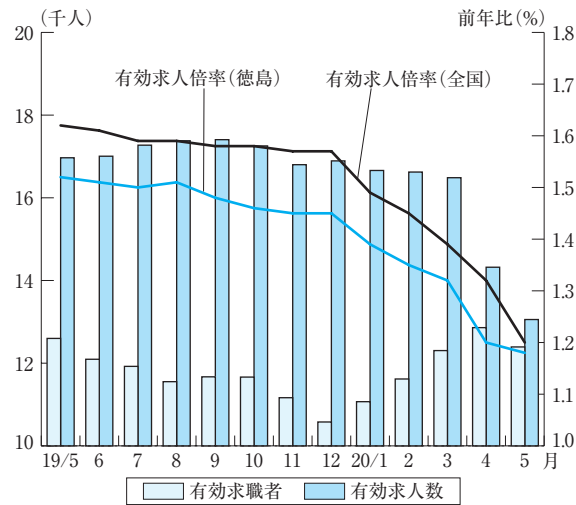


資料：徳島県生コンクリート工業組合

5月の生コン出荷量（徳島県生コンクリート工業組合出荷速報）は49千立方メートル、前年比4.1%減となった。

民需は16千立方メートルで前年比16.4%減、官公需は33千立方メートルで同3.0%増となっている。

雇用関連 (求人)



資料：徳島労働局

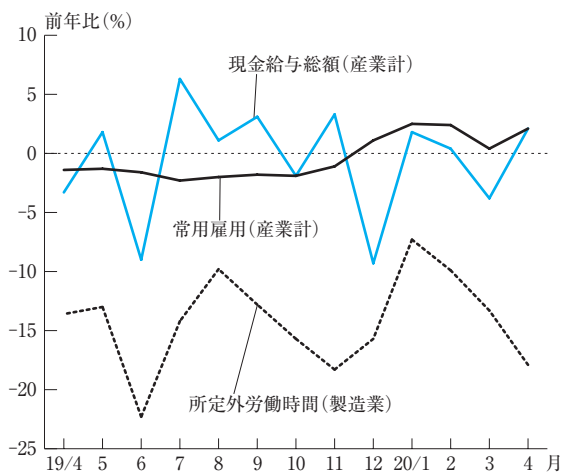
5月の有効求人倍率(季節調整値)は、1.18倍で前月比0.02ポイント低下。原数値は、1.05倍で前年比0.30ポイント低下。有効求職者数は12,393人で前年比1.6%減少、有効求人数は13,056人で同23.1%減少した。

新規求人数(一般。パートを除く)は2,677人で前年比21.2%減少、パートの新規求人は1,682人で同19.3%減少した。

内訳をみると、宿泊業・飲食サービス業、製造業、卸売業・小売業などで減少が目立った。

なお、5月の雇用保険受給資格決定件数は前年比12.5%増加した。

雇用関連 (勤労統計)

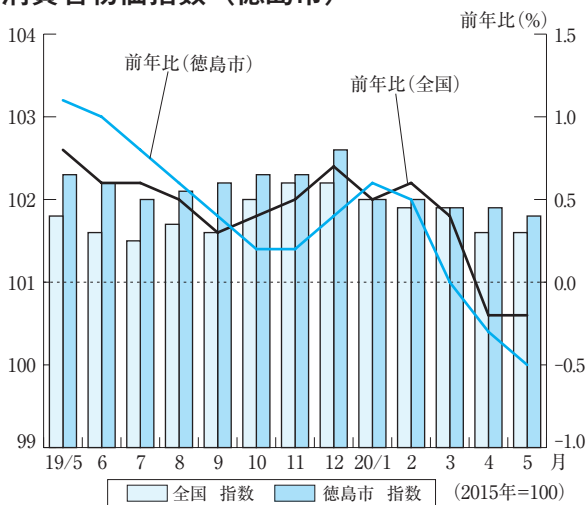


資料：徳島県統計データ課

4月の毎月勤労統計(5人以上の事業所)によれば、常用雇用指数(産業計)は103.8で前年比2.1%上昇、現金給与総額指数(産業計)は86.2で同2.1%上昇、所定外労働時間指数(製造業)は77.7で同17.9%低下となった。

(指数：2015年=100)

消費者物価指数 (徳島市)



※「生鮮食品を除く総合」の数値をグラフ化

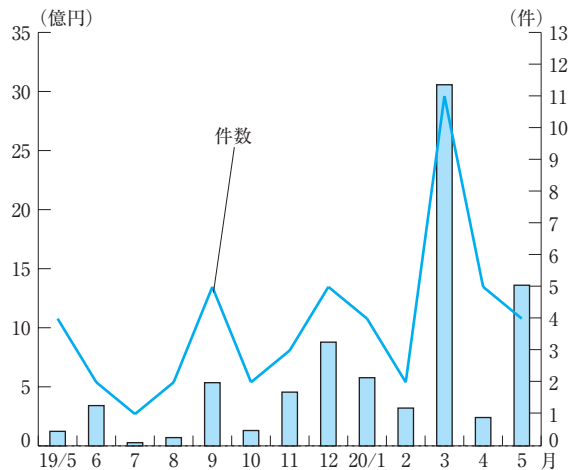
資料：総務省

5月の消費者物価指数は、102.0で前年比0.4%低下(前月比0.1%低下)、生鮮食品を除く総合は101.8で同0.5%低下(同0.1%低下)であった。

費目別にみると、前年比低下した費目は、教育(△3.2%)、交通・通信(△3.0%)、光熱・水道(△1.3%)など。一方、上昇した費目は、家具・家事用品(3.0%)、食料(1.3%)、教養娯楽(2.0%)などでの伸びが目立っている。

(指数：2015年=100)

企業倒産

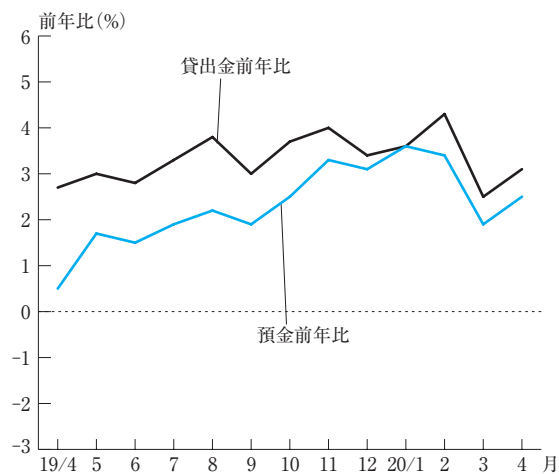


資料：東京商工リサーチ

5月の企業倒産（東京商工リサーチ調べ、負債総額1千万円以上）をみると、4件で負債総額は13億60百万円であった。業種別では、製造業、サービス業他が各2件だった。うち、新型コロナウイルス関連の倒産は2件。

帝国データバンクの調査（負債総額1千万円以上、法的整理による倒産）では、4件で負債総額は13億20百万円であった。

金融

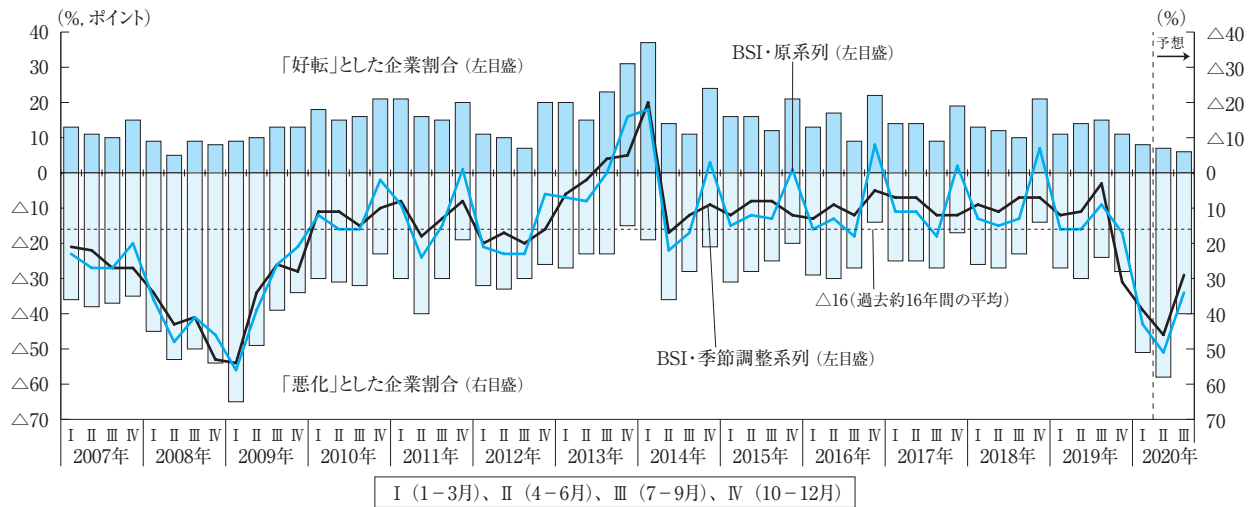


資料：日本銀行

4月の民間金融機関貸出残高は、日本銀行徳島事務所によると、全体では前年比3.1%増となり、58ヵ月連続で前年を上回った。この間、貸出約定平均金利は、前月比低下した（3月末1.239%→4月末1.229%、国内銀行ベース）。

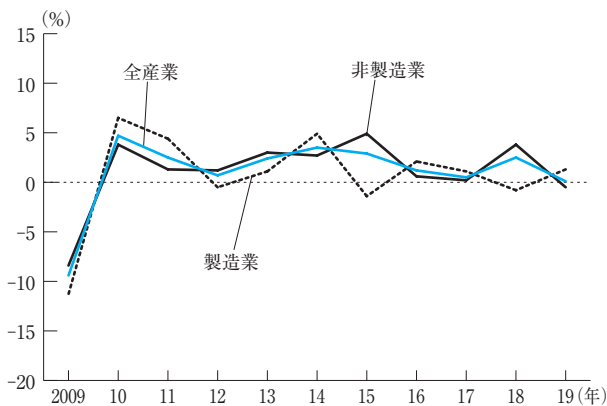
預金については、前年比2.5%増となり、13ヵ月連続で前年を上回った。

業況判断 B S I (徳島経済研究所調査)



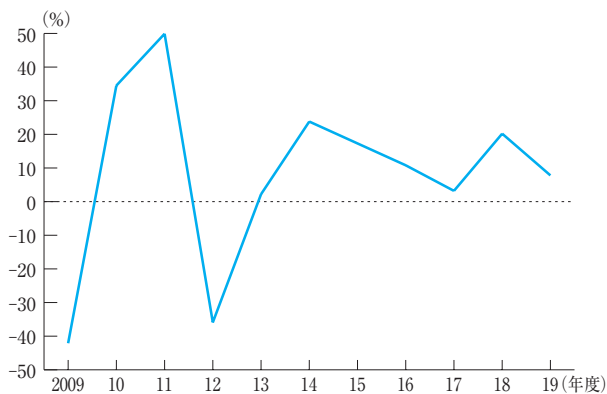
2020年1～3月期(前期→当期:△31→△39)の業況判断 BSI (季節調整値)は悪化した。また、前回調査時の予想(△19)と比べても大幅に悪化している。新型コロナウイルスの感染拡大が影響を及ぼす中、先行き4～6月期の予想は△46と一段と悪化し、リーマンショック当時に次ぐ水準である。続く7～9月期は厳しい状況が続くものの、△29と改善する見通しである。(詳細は2020年5月の「第141回企業経営動向調査」参照)

ボーナス支給動向 (同)



県内民間企業の2019年冬季ボーナス支給に関するアンケート調査によれば、平均ボーナス支給額は399,500円で、前年同期の399,200円に比べ支給額+300円、増減率+0.1%(前年同調査+10,200円、+2.5%)と、10年連続でプラスとなった。業種別にみると、製造業は+1.3%、非製造業は△0.5%と明暗が分かれ、非製造業は10年ぶりにマイナスに転じた。(詳細は2020年1月の「経済トピックス No.133」参照)

採用動向 (同)



県内民間企業の採用動向に関するアンケート調査によると、回答企業が2020年春に計画している新卒者採用人数は770人で、2019年春の同採用実績714人に比べ、56人の増加となる見込み。2020年春の新卒者採用計画と2019年春の採用実績とを比較した増減率は+7.8%となり、前年同調査(+20.2%)を12.4ポイント下回り、増勢は鈍化したものの、7年連続のプラスとなった。(詳細は2020年1月の「経済トピックス No.133」参照)

摘要 年月	徳島県鉱工業生産指数 2015年=100													
	鉱工業総合		金属製品		はん用・生産用・業務用機械		電気機械		化学		プラスチック製品		パルプ・紙・紙加工品	
	10000	前年比 %	wt.309.7	前年比 %	wt.558.7	前年比 %	wt.2888.8	前年比 %	wt.3681.0	前年比 %	wt.247.0	前年比 %	wt.516.2	前年比 %
2015年	100.0	2.8	100.0	2.2	100.0	△ 9.1	100.0	△ 2.2	100.0	14.2	100.0	△ 8.9	100.0	0.1
2016年	97.8	△ 2.2	105.1	5.1	88.9	△ 11.1	96.4	△ 3.6	97.0	△ 3.0	111.3	11.3	95.7	△ 4.3
2017年	98.4	0.6	88.4	△ 15.9	96.7	8.8	94.4	△ 2.1	101.9	5.1	121.0	8.7	94.3	△ 1.5
2018年	102.0	3.7	100.7	13.9	101.8	5.3	88.8	△ 5.9	111.2	9.1	151.9	25.5	97.1	3.0
2019年	101.3	△ 0.7	104.9	4.2	112.8	10.8	89.1	0.3	109.7	△ 1.3	132.5	△ 12.8	94.0	△ 3.2
2019.2	109.7	14.1	156.6	104.6	99.2	△ 17.6	87.1	△ 3.2	128.6	35.2	124.3	△ 21.3	96.0	3.3
3	106.0	5.9	109.9	36.8	125.2	52.4	87.3	△ 7.6	119.4	15.2	129.9	△ 15.9	95.8	2.5
4	105.2	5.0	112.9	△ 34.9	102.6	4.8	87.4	1.3	120.8	16.6	123.6	△ 23.1	92.3	△ 3.4
5	109.1	7.5	91.5	0.1	133.7	72.3	90.7	9.7	121.4	5.9	129.5	△ 9.2	94.7	0.6
6	102.0	0.4	131.2	49.9	119.9	14.3	84.3	△ 4.3	110.9	3.4	124.6	△ 22.4	85.9	△ 13.6
7	102.2	4.4	109.8	26.8	116.9	20.5	89.8	6.5	106.3	△ 1.8	131.0	△ 1.1	120.1	23.7
8	96.1	△ 8.0	126.5	71.3	90.0	△ 13.9	90.9	4.0	93.8	△ 17.9	132.9	△ 12.0	89.4	△ 10.1
9	90.0	△ 14.6	81.7	△ 44.0	108.9	16.7	87.1	0.2	84.0	△ 30.8	127.5	△ 15.0	92.4	△ 4.5
10	98.1	△ 10.5	101.7	24.0	121.7	11.6	89.8	△ 5.7	97.9	△ 22.1	139.0	△ 5.8	89.0	△ 8.6
11	97.5	△ 8.9	64.8	△ 38.5	101.6	△ 9.3	88.9	△ 5.1	107.8	△ 14.0	138.1	1.6	94.5	△ 2.7
12	95.4	△ 6.5	82.3	△ 30.8	90.5	△ 18.9	92.0	4.0	98.5	△ 13.2	143.7	△ 9.4	88.7	△ 14.4
2020.1	92.3	△ 12.4	144.8	62.1	125.4	18.1	80.3	△ 12.7	90.5	△ 24.1	106.9	△ 16.7	86.5	△ 2.0
2	95.4	△ 10.7	70.8	△ 51.0	93.3	2.2	92.4	8.3	101.9	△ 17.0	88.7	△ 21.2	82.4	△ 11.1
3	102.5	△ 2.3	67.2	△ 42.3	65.3	△ 46.7	92.8	8.8	125.3	5.3	114.6	△ 14.0	80.6	△ 14.8
4	104.2	△ 0.8	97.9	△ 13.6	84.2	△ 23.0	91.2	4.2	129.6	5.8	133.1	2.8	79.2	△ 15.0
5														
資料出所	徳島県統計データ課													

(注) 鉱工業生産指数は季節調整済。前年比は原指数比較。年度は原指数。

摘要 年月	徳島県鉱工業生産指数						百貨店・スーパー販売額		専門量販店			コンビニエンスストア
	繊維		食料品・飲料・飼料		木材・木製品		販売額		家電大型	ドラッグストア	ホームセンター	
	wt.99.3	前年比 %	wt.703.4	前年比 %	wt.157.8	前年比 %	百万円	前年比 %	前年比 %	前年比 %	前年比 %	前年比 %
2015年	100.0	5.2	100.0	△ 8.3	100.0	△ 1.2	74,793	2.8	△ 7.5	5.3	△ 1.4	—
2016年	102.0	2.0	103.8	3.8	103.8	3.8	74,736	△ 0.1	△ 2.9	3.8	△ 0.4	—
2017年	96.6	△ 5.3	101.6	△ 2.1	105.7	1.8	78,147	4.6	△ 2.5	3.9	△ 0.6	—
2018年	86.5	△ 10.5	105.0	3.3	98.2	△ 7.1	81,139	3.8	△ 0.8	4.3	4.2	—
2019年	87.6	1.3	104.9	△ 0.1	96.0	△ 2.2	82,076	1.2	0.7	6.4	△ 0.5	—
2019.2	94.2	△ 1.0	116.0	13.1	99.7	1.3	5,947	2.5	△ 4.5	5.8	1.7	2.6
3	87.1	2.1	99.9	△ 20.4	99.0	△ 4.0	6,847	3.4	1.2	7.5	1.3	0.4
4	88.3	1.4	107.1	5.2	98.6	1.8	6,472	1.3	△ 2.3	6.0	△ 5.5	2.4
5	90.5	9.8	103.8	△ 3.0	96.5	△ 4.6	6,677	3.2	6.9	7.5	3.2	2.9
6	83.5	△ 4.9	104.9	3.6	93.9	△ 4.3	6,739	2.7	1.2	7.8	△ 1.3	1.8
7	86.6	5.3	108.7	4.7	97.6	1.5	6,691	△ 3.8	△ 18.2	1.8	△ 7.7	△ 2.6
8	95.0	16.0	98.4	△ 15.2	91.9	△ 9.8	7,006	2.2	24.8	7.1	6.4	0.3
9	83.6	1.0	101.7	△ 3.4	95.3	0.9	6,960	8.1	62.9	30.2	17.1	△ 1.3
10	85.1	△ 2.0	105.2	△ 0.7	95.8	△ 0.6	6,455	△ 4.5	△ 23.9	△ 5.8	△ 14.8	3.1
11	85.5	△ 3.1	105.9	9.8	95.8	1.5	6,963	0.1	△ 7.9	3.6	△ 1.9	1.5
12	89.6	10.2	109.8	17.0	92.1	△ 4.8	8,458	△ 0.4	△ 12.6	2.0	△ 2.3	0.3
2020.1	86.9	1.5	103.4	3.8	91.2	△ 6.6	6,908	0.7	△ 6.6	2.6	1.9	△ 0.4
2	84.5	△ 8.8	103.5	△ 10.0	86.0	△ 11.9	6,435	8.2	7.6	19.0	11.8	2.5
3	78.3	△ 8.7	116.6	19.7	86.1	△ 11.8	7,687	△ 2.3	△ 5.9	6.0	7.5	△ 6.7
4	80.1	△ 8.6	93.7	△ 11.8	81.6	△ 16.9	6,802	△ 8.5	△ 1.2	12.8	7.8	△ 10.8
5												
資料出所	徳島県統計データ課						四国経済産業局					

(注) 「百貨店・スーパー販売額」の対前年比増減率は、2020年3月から、調査先の見直しに伴いギャップを調整するリンク係数で処理した数値で算出。

摘要 年月	新車登録車数		新車届出車数		新設住宅着工				公共工事保証請負			
	乗用車 台	前年比 %	軽乗用車 台	前年比 %	総数		持家	貸家	総面積 m ²	件数 件	金額 百万円	前年比 %
					総戸数 戸	前年比 %	前年比 %	前年比 %				
	台	%	台	%	戸	%	%	%	m ²	件	百万円	%
2015年	14,802	△ 6.7	11,408	△ 22.7	3,802	△ 5.5	△ 0.1	△ 12.4	369,116	3,797	117,601	△ 7.2
2016年	15,481	4.6	10,102	△ 11.4	4,506	18.5	7.9	32.4	413,560	3,606	126,296	7.4
2017年	16,292	5.2	10,492	3.9	4,859	7.8	△ 1.8	15.9	427,925	3,551	121,862	△ 3.5
2018年	15,982	△ 1.9	10,914	4.0	4,335	△ 10.8	△ 3.9	△ 17.8	393,645	3,880	115,008	△ 5.6
2019年	16,005	0.1	10,963	0.4	4,122	△ 4.9	5.4	△ 13.8	373,621	3,943	133,076	15.7
2019. 2	1,515	△ 1.2	1,109	4.6	332	8.5	2.4	7.6	29,846	288	5,753	△ 27.7
3	2,031	△ 5.8	1,284	△ 3.7	448	23.8	5.0	53.4	35,882	183	6,359	△ 50.9
4	1,240	9.3	952	△ 0.5	443	65.9	37.5	15.7	44,553	443	17,857	15.7
5	1,221	15.3	906	14.4	430	18.8	1.1	38.8	32,776	214	8,221	29.7
6	1,339	10.2	909	3.5	342	△ 14.7	26.1	△ 49.1	32,773	274	11,951	30.0
7	1,478	18.4	962	8.5	322	△ 14.1	38.0	△ 56.4	32,035	394	10,780	△ 2.1
8	1,217	13.2	783	8.1	242	△ 42.1	△ 19.2	△ 52.9	23,517	361	15,844	11.0
9	1,779	20.0	1,278	27.8	329	△ 17.3	△ 13.5	△ 15.4	28,416	460	14,695	△ 2.3
10	821	△ 30.7	680	△ 20.2	325	△ 23.2	△ 2.1	12.9	29,681	480	13,508	24.5
11	1,066	△ 20.0	769	△ 7.1	326	△ 15.3	△ 10.2	△ 18.2	28,075	319	7,512	1.6
12	1,024	△ 16.9	673	△ 7.3	326	4.8	3.5	△ 2.5	30,387	308	10,964	15.0
2020. 1	1,193	△ 11.8	806	△ 12.9	251	△ 2.3	△ 39.7	126.3	21,784	234	6,063	58.5
2	1,292	△ 14.7	1,065	△ 4.0	318	△ 4.2	6.9	△ 69.3	33,228	162	6,463	12.3
3	1,805	△ 11.1	1,300	1.2	387	△ 13.6	△ 5.3	△ 56.7	35,563	294	9,212	44.9
4	849	△ 31.5	609	△ 36.0	329	△ 25.7	△ 24.4	39.5	30,878	456	25,328	41.8
5	735	△ 39.8	375	△ 58.6	222	△ 48.4	△ 35.9	△ 63.5	21,785	175	5,700	△ 30.7
資料出所	自動車販売店協会		軽自動車協会		国土交通省				西日本建設保証(株)			

(注) 公共工事保証請負金額は年度。

摘要 年月	消費者物価指数 (総合、徳島市)		家計消費支出(勤労者) (徳島市)		雇用市場						常用雇用指数 (産業計)	
	生鮮食品を 除く総合	前年比 %	消費支出 円	前年比 %	有効求職者数		有効求人数		有効求人倍率		2015年 =100	前年比 %
					人	前年比 %	人	前年比 %	倍	ポイント		
	2015年=100	%	円	%	人	%	人	%	倍	ポイント	=100	%
2015年	100.0	0.7	309,604	△ 12.0	12,255	△ 9.0	14,815	1.1	1.21	0.12	100.0	1.1
2016年	100.0	0.0	318,041	2.7	12,033	△ 1.8	16,257	9.7	1.35	0.14	101.0	0.9
2017年	100.5	0.5	296,288	△ 6.8	11,819	△ 1.8	16,634	2.3	1.41	0.06	100.8	△ 0.2
2018年	101.4	1.0	332,595	12.3	11,531	△ 2.4	17,037	2.4	1.48	0.07	102.7	1.9
2019年	102.1	0.6	324,192	△ 2.5	11,745	1.9	17,048	0.1	1.45	△ 0.03	101.3	△ 1.4
2019. 2	101.5	0.5	255,677	△ 26.5	11,246	△ 3.0	18,403	6.1	1.53	0.02	101.2	△ 1.7
3	101.9	0.9	341,862	0.8	11,804	△ 2.0	18,367	4.9	1.52	△ 0.01	101.2	△ 1.2
4	102.2	1.0	359,374	18.7	12,697	△ 0.2	17,828	5.8	1.53	0.01	101.7	△ 1.4
5	102.3	1.1	341,548	23.6	12,599	1.2	16,968	5.5	1.52	△ 0.01	101.7	△ 1.3
6	102.2	1.0	334,880	12.5	12,095	1.2	17,006	5.1	1.51	△ 0.01	101.6	△ 1.6
7	102.0	0.8	378,542	19.5	11,923	3.2	17,273	6.4	1.50	△ 0.01	100.7	△ 2.3
8	102.1	0.6	305,535	△ 25.0	11,553	1.1	17,379	5.9	1.51	0.01	100.6	△ 2.0
9	102.2	0.4	371,968	5.3	11,670	4.1	17,406	5.7	1.48	△ 0.03	100.9	△ 1.8
10	102.3	0.2	280,553	△ 21.5	11,664	1.3	17,255	△ 1.3	1.46	△ 0.02	100.7	△ 1.9
11	102.3	0.2	280,153	△ 8.5	11,165	0.1	16,801	△ 2.6	1.45	△ 0.01	101.8	△ 1.1
12	102.6	0.4	312,393	0.5	10,578	0.2	16,893	△ 1.4	1.45	0.00	101.9	1.1
2020. 1	102.0	0.6	309,430	△ 5.6	11,069	2.6	16,661	△ 5.3	1.39	△ 0.06	104.1	2.5
2	102.0	0.5	280,741	9.8	11,618	3.3	16,623	△ 9.7	1.35	△ 0.21	103.6	2.4
3	101.9	0.0	307,403	△ 10.1	12,305	4.2	16,486	△ 10.2	1.32	△ 0.22	101.6	0.4
4	101.9	△ 0.3	262,972	△ 26.8	12,860	1.3	14,321	△ 19.7	1.20	△ 0.29	103.8	2.1
5	101.8	△ 0.5			12,393	△ 1.6	13,056	△ 23.1	1.18	△ 0.30		
資料出所	総務省				徳島労働局職業安定課						徳島県統計データ課	

(注) 家計消費支出は、二人以上の世帯のうち勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の一世帯あたり平均。

(注) 有効求職者数、有効求人数、有効求人倍率は年度平均。

(注) 有効求人倍率は季節調整値、同前年比は原指数による。

(注) 常用雇用は、5人以上の事業所。

摘要 年月	所定外労働時間指数 (製造業)		現金給与総額指数 (産業計)		延べ宿泊者数 (全宿泊施設)		本州四国連絡 道路交通量		金融関連		
	2015年 =100	前年比 %	2015年 =100	前年比 %	千人泊	前年比 %	大鳴門橋	前年比 %	実質預金 前年比 %	貸出金 前年比 %	貸出約定 平均金利 年利%
							千台				
2015年	100.0	△ 1.3	100.0	0.2	2,314.9	△ 19.3	8,945	3.7	1.4	2.4	1.697
2016年	99.0	△ 1.0	100.2	0.2	2,383.1	2.9	9,059	1.3	0.8	1.1	1.590
2017年	105.5	6.6	98.9	△ 1.3	2,298.2	△ 3.6	9,119	0.7	3.1	4.2	1.455
2018年	103.0	△ 2.4	100.1	1.2	2,224.0	△ 3.2	9,173	0.6	△ 0.2	3.4	1.344
2019年	88.1	△ 14.5	99.1	△ 1.0	2,374.0	6.7	9,482	3.4	3.1	3.4	1.252
2019. 2	89.2	△ 14.8	82.9	0.5	148.2	6.7	641	6.3	△ 0.4	3.0	1.336
3	96.6	△ 9.6	88.9	3.9	194.4	△ 6.5	836	3.2	0.0	2.5	1.322
4	94.6	△ 13.6	84.4	△ 3.3	215.0	10.6	827	6.7	0.5	2.7	1.310
5	85.8	△ 13.0	85.5	1.8	241.0	15.1	918	9.5	1.7	3.0	1.303
6	82.4	△ 22.3	122.7	△ 9.0	148.9	△ 3.5	678	3.4	1.5	2.8	1.292
7	81.8	△ 14.2	126.9	6.3	189.7	7.2	761	7.8	1.9	3.3	1.282
8	86.5	△ 9.8	85.8	1.1	275.4	3.6	1,023	1.2	2.2	3.8	1.279
9	87.2	△ 12.8	86.1	3.1	189.2	5.4	781	8.4	1.9	3.0	1.277
10	87.8	△ 15.7	82.9	△ 1.9	236.4	14.8	756	4.3	2.5	3.7	1.270
11	90.5	△ 18.3	89.6	3.3	221.5	10.6	786	4.8	3.3	4.0	1.265
12	90.5	△ 15.7	168.0	△ 9.3	168.0	2.3	793	4.0	3.1	3.4	1.252
2020. 1	77.7	△ 7.3	87.0	1.8	152.8	4.4	780	3.8	3.6	3.6	1.248
2	80.4	△ 9.9	83.2	0.4	162.0	9.3	677	5.5	3.4	4.3	1.241
3	83.8	△ 13.3	85.5	△ 3.8	115.0	△ 40.9	701	△ 16.1	1.9	2.5	1.239
4	77.7	△ 17.9	86.2	2.1	47.2	△ 78.0	414	△ 49.9	2.5	3.1	1.229
5							351	△ 61.8			
資料出所	徳島県統計データ課				国土交通省		本州四国連絡高速道路		日本銀行		

(注) 所定外労働時間、現金給与総額は、5人以上の事業所。
 (注) 延べ宿泊者数は、2018.12までは確定値、2019.1以降は第2次速報値。
 (注) 本州四国連絡道路交通量は年度。
 (注) 実質預金(資金化していない手形、小切手等を差引いたもの)・貸出残高は、国内銀行(ゆうちょ銀行除く)・信金ベース。
 (注) 実質預金、貸出残高及び貸出約定平均金利は、年・月末。
 (注) 貸出約定平均金利は、国内銀行(ゆうちょ銀行除く)の県内店舗における貸出金利を貸出金残高(未残)で加重平均したもの。

摘要 年月	手形交換状況						企業倒産			信用保証協会代位弁済		
	手形交換高			不渡手形								
	枚数 千枚	金額 百万円	前年比 %	枚数 枚	金額 百万円	前年比 %	件数 件	金額 百万円	前年比 %	件数 件	金額 百万円	前年比 %
2015年	356	368,609	△ 10.6	178	156	△ 42.5	45	11,109	131.6	195	1,751	△ 8.3
2016年	333	342,429	△ 7.1	163	92	△ 41.0	32	4,972	△ 55.2	212	1,685	△ 3.8
2017年	307	309,479	△ 9.6	193	143	56.0	34	5,789	16.4	231	2,293	36.1
2018年	281	287,748	△ 7.0	129	120	△ 16.2	33	4,491	△ 22.4	185	1,493	△ 34.9
2019年	279	284,098	△ 1.3	138	101	△ 16.0	43	6,402	42.6	232	1,996	33.7
2019. 2	22	23,598	△ 1.9	7	17	4.5	3	1,046	2,888.6	19	151	121.4
3	18	18,084	△ 4.5	26	36	10,504.4	3	1,023	△ 41.5	4	4	△ 87.0
4	21	22,740	△ 6.1	45	24	—	8	1,215	715.4	33	366	△ 3.2
5	28	29,688	△ 9.4	36	19	98.7	4	123	△ 28.9	27	355	64.9
6	18	17,148	△ 7.7	18	20	1,523.1	2	341	424.6	41	256	24.8
7	27	31,083	1.9	21	38	4,754.5	1	27	△ 89.4	24	129	208.0
8	17	16,427	△ 30.8	9	61	375.5	2	70	△ 30.0	11	125	△ 15.1
9	24	27,607	67.9	3	23	124.0	5	535	3,466.7	10	53	△ 71.0
10	22	21,282	△ 24.2	10	26	58.6	2	130	△ 88.8	12	95	142.4
11	16	13,843	△ 35.6	4	7	△ 64.9	3	455	550.0	16	128	208.4
12	22	21,942	26.8	52	59	1,571.3	5	878	970.7	15	58	115.7
2020. 1	24	26,598	△ 5.0	47	57	387.6	4	577	3.2	26	254	303.9
2	16	15,895	△ 32.6	27	15	△ 10.1	2	320	△ 69.4	16	175	15.9
3	24	27,423	51.6	43	39	7.6	11	3,057	198.8	1	2	△ 50.2
4	19	22,168	△ 2.5	43	45	86.7	5	240	△ 80.2	53	457	24.8
5	15	14,958	△ 49.6	12	4	△ 78.3	4	1,360	1,005.7	44	448	26.0
資料出所	徳島県銀行協会						東京商工リサーチ			徳島県信用保証協会		

(注) 保証協会代位弁済は年度。